

平成30年度 FOCUSスパコン 約款・利用料金 改定のポイント

公益財団法人 計算科学振興財団



1. 平成30年度 FOCUSスパコン約款改定ポイント
【参考】平成30年度 FOCUSスパコン継続申請スケジュール
2. 平成30年度 FOCUSスパコン利用料金改定ポイント
 - 2-1. 計算資源利用料
 - 2-2. 追加ストレージ(/home2 及び /cloud1)
 - 2-3. 専用フロントエンドサーバ

【留意事項】

本資料は、平成30年度のFOCUSスパコン約款及び利用料金表の改定の中から、利用者の皆さまにとって**重要と思われる部分を一部抜粋して記載しており、すべての改定部分を網羅しているものではありません**。また、平成29年11月時点の改定案の内容を記載しており、最終的には変更が加わる可能性があります。

実際の利用申請にあたっては、公益財団法人計算科学振興財団スーパーコンピュータ利用契約約款、ならびに利用料金表、期間占有ポリシー等をご確認、ご同意の上、利用申請を行ってください。

なお、本資料における金額表記は全て税抜きとなっております。



1. 平成30年度 FOCUSスパコン約款改定ポイント ①

■ 利用契約期間の期限の定め（単年度）を撤廃

- ・ 従来、当該年度末までを期限としていた利用期間の定めを撤廃
- ・ 原則、利用者が利用廃止届を提出するまで継続手続き等なしで利用可能

【約款 第11条】

(改定前) FOCUSスパコンの利用期間は、第19条の利用承認通知書に記載された利用開始日から、**当該利用開始日を含む年度の年度末まで**とする。

(改定後) FOCUSスパコンの利用期間は、第19条の利用承認通知書に記載された利用開始日から、**第29条の利用の廃止の届けを受理したとき又は本約款の定めにより利用契約を解除したときまで**とする。



- ・ 変更等がない場合、年度毎の**継続手続きが不要**になります。
- ・ 従事者の追加・削除など簡単な手続きで継続利用が可能になります。



- ・ 利用を廃止する場合は、**必ず利用廃止届を提出**してください。
- ・ アカウント利用料は引き続き「**年度単位**」となります。年度を跨いだ継続利用の場合、**4月時点の有効アカウントに対して当該年度のアカウント利用料の支払い義務が生じます**ので、利用廃止・従事者の削除手続きは遅滞なく行ってください。
- ・ 継続利用期間中においても**約款等が変更される場合**があります。

※平成29年度から平成30年度への継続は、これまで通り継続手続き（利用申請）が必要です。



1. 平成30年度 FOCUSスパコン約款改定ポイント ②

■ 本人確認書類の変更

- ・ 利用申請時の本人確認書類として、運転免許証や旅券等の写しの提出を廃止。**顔写真付きの社員証の写し**を本人確認書類とします。
- ・ 社員証に顔写真がない場合は、社員証の写し＋運転免許証や旅券等の写しの提出を要します。

【約款 第15条第3項・第4項・第5項】

(改定前) 3 (前略) 申請に際し、全従事者は**財団の指定する運転免許証等の顔写真付き証明書の写しを提出すること。**

4 財団は、前項の証明書として有効なものを以下のとおりと定める。

(1) 運転免許証 (2) 旅券 (3) 住民基本台帳カード (4) 在留カード (5) その他財団が認めるもの

(改定後) 3 (前略) 申請に際し、全従事者は**利用者が発行する顔写真付き身分証明証(社員証等)の写しを提出するものとする。**顔写真付き身分証明証とは、以下の記載が存在し、利用者が従事者の身分を第三者に対して保証していると判断できるものをいう。

(1) 従事者の氏名と顔写真 (2) 利用者名 (3) 利用者が従事者の身分を認める旨の記述

4 従事者が前項の顔写真付き身分証明証を持っていない場合は、利用者が発行する顔写真なし身分証明証と財団の指定する運転免許証等の顔写真付き証明書の写しを提出するものとする。

5 財団は、前項の証明書として有効なものを以下のとおりと定める。

(1) 運転免許証 (2) 旅券 (3) 住民基本台帳カード(ただし、個人番号通知カード及びマイナンバーカードは除く) (4) 在留カード (5) その他財団が認めるもの

※平成29年度から平成30年度の継続申請時には、既存従事者の本人確認書類の提出は不要です。

新規課題申請、および新規従事者の追加の場合は、改定後の本人確認書類の提出が必要となります。



【参考）平成30年度 FOCUSスパコン継続申請スケジュール

平成29年度から平成30年度への利用継続は、これまで通り継続手続き（利用申請）が必要です。

【継続申請スケジュール（予定）】



- 一次締切までに継続利用申請書をご提出の方は、4月のFOCUSスパコンメンテナンス明け直後（4月10日過ぎの見込み）から利用が可能です。
- 最終締切までに継続利用申請書をご提出の方は、4月のFOCUSスパコンメンテナンス明け直後から数日間は利用いただけない期間があります。



2. 平成30年度 FOCUSスパコン利用料金改定ポイント

1. 計算資源利用料 並列割引制度の拡充

- ・ 並列割引適用最低ノード数の引き下げ
- ・ 最低単価適用ノード数を引き下げ
- ・ 並列割引率を最高60%OFFに引き上げ

2. 追加ストレージ(/home2)の年度単位の導入

- ・ 月単位×12ヶ月に比べ、約17%OFF

※賛助会員特典による追加ストレージ特典は廃止となります。

(平成29年度) 賛助会員費100,000円で、ストレージ追加特典150GB付与
(平成30年度) 年度単位での利用の場合150GB追加で90,000円

3. 専用フロントエンドサーバ利用料金の改定

- ・ 月単位料金を一律25%引き上げ

2-1. 計算資源利用料 (Aシステム)

従量利用の並列割引制度の拡充

- ・適用最低ノード数の引き下げ(9→5) と最低単価適用ノード数の引き下げ(81→33)
- ・最低単価：50円 (50%OFF)→40円 (60%OFF)

平成29年度		平成30年度		
ノード数	単価	ノード数	単価	改定差額
1～8ノード	100円	1～4ノード	100円	0円
		5～8ノード	95円	-5円
9～16ノード	95円	9～12ノード	90円	-5円
		13～16ノード	85円	-10円
17～24ノード	90円	17～18ノード	80円	-10円
		19～20ノード	75円	-15円
		21～22ノード	70円	-20円
		23～24ノード	65円	-25円
25～32ノード	85円	25～26ノード	60円	-25円
		27～28ノード	55円	-30円
		29～30ノード	50円	-35円
		31～32ノード	45円	-40円

平成29年度		平成30年度		
ノード数	単価	ノード数	単価	改定差額
33～40ノード	80円	33ノード以上	40円	-10円 ～ -40円
41～48ノード	75円			
49～56ノード	70円			
57～64ノード	65円			
65～72ノード	60円			
73～80ノード	55円			
81ノード以上	50円			

期間占有 (日単位) の並列割引制度の拡充

- ・従量利用単価に準じた割引率 (H29並列割引単価比 最大50%OFF)

期間占有 (月単位・年度単位) の料金改定

- ・ノード/月 46,080円→43,200円 (時間単価換算64円→60円)
- ・8ノード/年度 3,153,600円→2,764,800円 (時間単価換算45.6円→40円)



2-1. 計算資源利用料（Dシステム・Eシステム）

従量利用の並列割引制度の拡充

- ・適用最低ノード数の引き下げ(9→5)
- ・最低単価適用ノード数の引き下げ(Dシステム：65→33、Eシステム：41→33)

【Dシステム】

平成29年度		平成30年度		
ノード数	単価	ノード数	単価	改定差額
1～8ノード	300円	1～4ノード	300円	0円
		5～8ノード	280円	-20円
9～16ノード	280円	9～12ノード	260円	-20円
		13～16ノード	240円	-40円
17～24ノード	260円	17～20ノード	220円	-40円
		21～24ノード	200円	-60円
25～32ノード	240円	25～28ノード	180円	-60円
		29～32ノード	160円	-80円
33～40ノード	220円	33ノード以上	140円	0円 ～ -80円
41～48ノード	200円			
49～56ノード	180円			
57～64ノード	160円			
65ノード以上	140円			

【Eシステム】

平成29年度		平成30年度		
ノード数	単価	ノード数	単価	改定差額
1～8ノード	300円	1～4ノード	300円	0円
		5～8ノード	280円	-20円
9～16ノード	280円	9～12ノード	260円	-20円
		13～16ノード	240円	-40円
17～24ノード	260円	17～20ノード	220円	-40円
		21～24ノード	200円	-60円
25～32ノード	240円	25～28ノード	180円	-60円
		29～32ノード	160円	-80円
33～40ノード	220円	33ノード以上	140円	-60円 ～ -80円
41ノード以上	200円			

期間占有（日単位）の並列割引制度の拡充

- ・従量利用単価に準じた割引率（H29並列割引単価比 最大36%OFF）

2-1. 計算資源利用料 (Fシステム)

従量利用の並列割引制度の拡充

- ・ 高並列部分に段階的割引を追加
- ・ 最低単価：375円 (25%OFF)→250円 (50%OFF)

平成29年度		平成30年度		
ノード数	単価	ノード数	単価	改定差額
1ノード	500円	1ノード	500円	0円
2～4ノード	475円	2～4ノード	475円	0円
5～6ノード	450円	5～6ノード	450円	0円
7～8ノード	425円	7～8ノード	425円	0円
9～10ノード	400円	9～10ノード	400円	0円
11ノード以上	375円	11～12ノード	375円	0円
		13～14ノード	350円	-25円
		15～16ノード	325円	-50円
		17～18ノード	300円	-75円
		19～20ノード	275円	-100円
		21ノード以上	250円	-125円

※Fシステムの期間占有（日単位）は、平成29年度に引き続き並列割引の適用はありません。
（利用ノード数に関わらず、ノードあたり1日 12,000円）

2-1. 計算資源利用料（Hシステム）

従量利用の並列割引制度の拡充

- ・適用最低ノード数の引き下げ(9→5)と最低単価適用ノード数の引き下げ(65→33)
- ・最低単価：60円（40%OFF）→40円（60%OFF）

平成29年度		平成30年度		
ノード数	単価	ノード数	単価	改定差額
1～8ノード	100円	1～4ノード	100円	0円
		5～8ノード	95円	-5円
9～16ノード	95円	9～12ノード	90円	-5円
		13～16ノード	85円	-10円
17～24ノード	90円	17～18ノード	80円	-10円
		19～20ノード	75円	-15円
		21～22ノード	70円	-20円
		23～24ノード	65円	-25円
25～32ノード	85円	25～26ノード	60円	-25円
		27～28ノード	55円	-30円
		29～30ノード	50円	-35円
		31～32ノード	45円	-40円

平成29年度		平成30年度		
ノード数	単価	ノード数	単価	改定差額
33～40ノード	80円	33ノード以上	40円	-20円 ～ -40円
41～48ノード	75円			
49～56ノード	70円			
57～64ノード	65円			
65ノード以上	60円			

期間占有（日単位）の並列割引制度の拡充

- ・従量利用単価に準じた割引率（H29並列割引単価比 最大50%OFF）

期間占有（月単位・年度単位）の料金改定

- ・ノード/月 57,600円→43,200円（時間単価換算80円→60円）
- ・8ノード/年度 2,764,800円を追加（時間単価換算50円→40円）



2-2. 追加ストレージ (/home2 及び /cloud1)

■ 追加ストレージ(/home2)の年度単位の導入

- ・ 追加ストレージ ホーム兼ワーク領域(/home2)の課金を、これまでの月単位に加え **年度単位を導入 (10GB/年あたり6,000円)**
- ・ 月単位 (10GB/月あたり600円×12ヶ月) に比べ **約17%OFF**

【賛助会員特典を追加ストレージに充当されている方へ】

平成30年度は、賛助会員特典の追加ストレージ利用特典がなくなります。

平成30年度は、新たに **追加ストレージ (/home2) を年度単位でご利用いただける料金体系**を追加し、金額的には年度単位の方がお得となりますので、ぜひご活用ください。

(平成29年度) 賛助会員費 **100,000円** で、ストレージ追加特典 150GB 付与
(平成30年度) 年度単位での利用の場合 150GB 追加で **90,000円**

■ クラウドストレージ (/cloud1) の提供の中止

- ・ 平成29年度の利用状況を鑑み、クラウドストレージ (/cloud1) の提供を中止



2-3. 専用フロントエンドサーバ

専用フロントエンドサーバの利用料金の改定

- ・専用フロントエンドサーバの利用料金を一律25%引き上げ

機種	平成29年度	平成30年度	
	単価（月あたり）	単価（月あたり）	改定差額
Light	50,000円	62,500円	12,500円
Thin	50,000円	62,500円	12,500円
Medium	80,000円	100,000円	20,000円
Fat	100,000円	125,000円	25,000円

専用フロントエンドサーバにつきましては、ジョブ投入の際の踏み台サーバ、および計算サーバとしての利用のほか、500GBから4000GBのストレージとしても利用が可能です。平成29年度のストレージ課金改定以降、ストレージの代替としても専用フロントエンドサーバの引き合いが強く、コストパフォーマンスを勘案した公平な受益者負担の観点から専用フロントエンドサーバの利用料金改定に至りました。

利用者の皆さまにおかれましては、ご理解のほどお願いいたします。

専用フロントエンドサーバLightの期間占有（日単位）利用制度の継続

- ・利用者からの要望を踏まえ平成29年10月から専用フロントエンドサーバLightの期間占有（日単位）利用制度を開始（1日1台 5,000円）
- ・平成30年度も同条件にて継続